

13103 教育心理学 I a、b Educational Psychology I		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	坂井 敬子	履修可能学科	E Pc必 C W F
		関 連 資 格	教職必・保育必(P c)
サブタイトル	教育心理学の基礎と教育現場における諸問題		
授業内容 ・ ねらい	近年の学校教育をめぐるのは、様々な制度の変化や子ども・教師の問題など、多くの課題が存在する。こうした教育現場における課題を理解し、それに対応するために、教育心理学は重要な学問である。教育心理学は心理学の諸領域で得られた様々な知見に基づいているため、本授業ではまず、認知心理学・学習心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学といった関連領域から得られた教育心理学に関する理論や知見について概観する。その上で、いじめ・不登校・問題行動・発達障害といった、実際の教育現場における様々な課題について、理論だけでなくデータも踏まえながら考えていく。以上のように、本授業では教育心理学の基礎的な知識について概観するとともに、教育現場の課題について具体的にみていくことで、心理学の知見を教育現場に有効に活用できる力を養成することを目指したい。		
授業計画	第1回 授業のガイダンスと教育心理学の位置づけ 第2回 学習の基礎となる認知 第3回 様々な学習の理論 第4回 学習と動機づけ 第5回 子どもの認知発達 第6回 子どもの社会的発達 第7回 学級集団の心理 第8回 教育と評価	第9回 いじめの心理 第10回 不登校の心理 第11回 問題行動の心理 第12回 学校生活とストレス 第13回 学校生活と社会 第14回 障害のある子どもの保育1 第15回 障害のある子どもの保育2	
教科書 参考書	教科書は用いない。参考書については授業内で適宜指示する。		
評価方法	試験を実施する(持ち込み不可)。また、評価においては出席状況も考慮する。		
事前準備学習 履修条件等	講義形式の授業だがコメントペーパーなどを通して積極的に授業に臨んでほしい。		